

## 6 全体構想と取組

子ども・学校を  
めぐる状況

子ども・学校の課題

- ・資質・能力の向上
- ・授業改善・授業力の向上
- ・不登校・学校不適応、いじめ
- ・多様な背景を持つ児童生徒への対応
- ・全職員参画による学校経営
- ・学年、学級経営力
- ・自己存在感、自己有用感
- ・社会性、規範意識、人間関係形成、自己調整力
- ・学ぶ意欲・目的、将来設計
- ・幼保小・小中連携、小中一貫
- ・校内での人材育成（OJT）

社会の現実

- ・ウェルビーイングの向上
- ・多様な価値観
- ・情報化の一層の進展
- ・児童虐待等、解決困難な諸課題
- ・グローバル化
- ・地方と中央の格差
- ・復興への温度差、地域差
- ・コミュニティの存続危機
- ・将来への不安

教育の動向

- ・令和の日本型学校教育の構築
- ・一人一人の子供を主語にした学び
- ・社会に開かれた教育課程
- ・主体的・対話的で深い学び
- ・カリキュラム・マネジメント
- ・GIGAスクール構想
- ・教育DXの更なる推進
- ・多様性と包摂性
- ・幼保小接続、小中連携への推進
- ・働き方改革の更なる推進

令和7年度（2025）

アプローチ（取組・評価）

めざす  
学校像

岩手県小中学校  
学校教育の重点

「チームとしての学校」の充実・強化

【重点項目】

【主な具体的取組】

※チームとしての学校の在り方と今後の改善の方策について（答申）H27.12.21中央教育審議会  
【いわて県民計画（2019～2028）第2期アクションプランにおける  
盛岡教育事務所管内の主な指標の目標値】

◆いわて幸福関連指標  
○具体的推進方策指標

教育課程

の実現

◎共通事項として取り組む

内容

①岩手で、世界で活躍する人材の育成

- ・「いわての復興教育」の推進
- ・キャリア教育の充実

②確かな学力の育成

- ・確かな学力育成プロジェクトの推進
- ・幼児期の教育との円滑な接続
- ・教育の情報化

③豊かな心の育成

- ・道徳教育の充実
- ・人権教育の推進
- ・体験活動の充実
- ・文化芸術教育の充実

④健やかな体の育成

- ・学校体育・学校保健・食育の充実
- ・適正な学校部活動運営の推進

⑤共に学び、共に育つ特別支援教育の推進

- ・「共に学び、共に育つ教育」の推進

⑥いじめ問題への確かな対応と不登校対策の推進

- ・いじめ問題への対応
- ・不登校対策
- ・情報モラルに関する指導

⑦学びの基盤づくり

- ・家庭と地域との協働による学校経営
- ・学校安全の確実な推進

環境

組織力

誰一人取り残さない安全・安心な居場所づくり

①生徒指導の充実

- ・生徒指導の実践上の視点を踏まえた自己有用感を高める教育活動、学年・学級経営の推進
- ・社会性や協調性、自己指導能力を育む教育活動の推進

②安全・安心な風土の醸成

- ・不登校の未然防止に向けた「魅力ある学校づくり」の推進
- ・いじめ、問題行動等の未然防止と組織的対応の強化
- ・情報化社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度を育む情報モラル教育の充実

学校経営体制の充実・強化

①家庭・地域と協働する開放的で個性的な学校づくり

- ・目標達成型の学校経営の取組の継続とコミュニティ・スクールの推進
- ・各中学校区の課題に応じた小・中連携の充実

②目標達成型の学校経営の推進

- ・「まなびフェス」の達成状況等に基づいた学校運営の改善の積極的な推進
- ・学校全体で組織的に取り組むカリキュラム・マネジメントの推進
- ・教員等の資質向上

③安全・安心な学校環境の整備

- ・学校安全計画や危機管理マニュアルを踏まえた組織的取組の推進
- ・家庭・地域・関係機関等との連携・協働による学校安全の確実な推進

①「いわての復興教育」の推進

- ・いわての「ひとづくり」研修会
- ・令和研II（教務主任等対象）

②キャリア教育の充実

- ・いわての「ひとづくり」研修会

③確かな学力の育成

- ・「確かな学力育成プラン」に基づいた組織的・計画的な取組の充実
- ・校内研究の活性化による全ての児童生徒の学習内容の確実な定着を図る授業の質的向上

- ・学習指導要領及び令和3年答申などの趣旨を踏まえた教育活動の一層の推進
- ・ICTの効果的な活用（教師の生成AI活用を含む）による学習活動の充実

- ・自立を育む家庭学習の指導の充実
- ・「架け橋期のカリキュラム」に基づいたスタートカリキュラムの充実

④豊かな心の育成

- ・互いの人権や多様性を認め合う道徳教育や人権教育の充実
- ・道徳教育指導計画の整備と組織的な推進体制の構築

⑤健やかな体の育成

- ・「60（ロクマル）プラスプロジェクト」の推進
- ・学校体育及び保健教育の充実
- ・学校部活動の適切な運営等の推進

⑥多様な背景を持つ児童生徒への支援の充実

- ・「いわて特別支援教育推進プラン（2024～2028）」を踏まえた特別支援教育の推進
- ・児童生徒の多様性を踏まえ個々の教育的ニーズに応じた組織的指導・支援の充実

※「2025目標値 県」…第2期アクションプランの「計画目標値」

指 標	※根拠となる調査 単位（%）	校種	県	事務所目標	
			R7目標値	R6結果	R7目標
◆将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	※全国学調 肯定回答	小	83.6	83.8	84.3
		中	75.2	71.6	72.1
◆意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合	※全国学調 肯定回答	小	82.5	83.0	83.5
		中	85.4	82.9	83.4
◆授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合	※全国学調 肯定回答	小	83.0	86.5	87.0
		中	83.5	88.7	89.2
◆人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合	※県学調 積極肯定回答	小	70	66	67
		中	68	64	65
◆自己肯定感を持つ児童生徒の割合	※全国学調 肯定回答	小	79.0	81.1	81.6
		中	79.0	84.1	84.6
小男	70.0	68.3	68.6		
小女	80.0	71.4	73.5		
中男	75.0	71.5	72.3		
中女	90.0	84.4	85.7		
運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合	※県体力・運動能力等調査	小中	89	91	92
朝食を毎日食べる児童生徒の割合	※県体力・運動能力等調査質問紙調査	小	97	96	97
		中	92	94	95
毎日一定の時刻に就寝する児童生徒の割合	※全国学調	小	85	84.3	85
		中	85	84.2	85
「引継ぎシート」を活用し、進学時に円滑な引継ぎを行っている学校の割合	小中	100	100	100	

指 標	単位（%）	校種	県	事務所目標	
			R7目標値	R6結果	R7目標
○いじめはいけないと思う児童生徒数の割合	※全国学調 肯定回答	小	100	96.5	100
		中	100	96.1	100
○学校が楽しいと思う（学校に満足している）児童生徒の割合	※県学調 肯定回答	小	90	83	85
		中	85	85	87
○スマートフォン等を使うときは、危険に巻き込まれる可能性等があることを理解している児童生徒の割合	※県学調 肯定回答	小	100	98	100
		中	100	98	100

指 標	単位（%）	校種	県	事務所目標	
			R7目標値	R6結果	R7目標
○地域住民などによる見守り活動が行われている学校の割合	※保健体育行政関係調査	小中	85.0	94.4	100
○コミュニティ・スクールを導入している学校の割合	※生涯学習文化財課調べ	小中	85.0	78.4	90.3